

1. 基本情報

評価対象年度 (29 年度)

施策コード	132		施策名	男女平等社会の推進			
将来像	1	安全でうれしいある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)					
まちづくりの基本目標	13	お互いを尊重し合うまち					
主担当部	企画部		主担当課	男女共同参画センター		主担当係	男女平等推進係
担当者	今村 広司		役職	企画部長		内線	210
関係課							

2. 施策の方向

10年後の姿	誰もが性別で固定された役割に左右されることなく、自分の意思と責任によって生き方を選択することができ、個性と能力を十分に発揮しながら、あらゆる分野で対等に参画する男女共同参画社会が進んでいます。					
施策の方向性	1	さまざまな視点で男女平等を考え、一人一人の生き方を尊重する人とまちをめざします				
	2	女性がいいきいと暮らせるよう、DVや就労などの相談支援を充実します				
	3	女性のリーダーシップが一層発揮されるまちをめざします				

3. 構成事業の状況

(単位: 千円)

No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算
0102011201	男女共同参画センター運営管理事業	対象	すべて	男女共同参画センター	8,071	6,380	5,874
0102011202	女性広報発行事業	対象	1	男女共同参画センター	2,007	2,041	1,394
0102011203	アイレックまつり事業	対象	1	男女共同参画センター	190	210	120
0102011204	起業支援事業	対象	3	男女共同参画センター	0	0	4,800
総事業費(施策の合計)					10,268	8,631	12,188

4. まちづくり指標

指標情報				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度	平成37年度	
①	名称	市の管理職の女性割合		目標値	9	9.0	11.0	30.0	
	説明	女性職員の能力とリーダーシップを測る	単位 %	実績値	9	10.2			
	抽出方法	職員課データ		達成率	100.0%	113.3%			
②	名称	日常生活で男女の不平等は感じないと思う人の割合		目標値	—	—	—	60.0	65.0
	説明		単位 %	実績値	—	57.7			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、32、35、38年度実施)		達成率	—	—			
③	名称	家事や子育て、介護等の家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思う人の割合		目標値	—	—	—	90.0	100
	説明		単位 %	実績値	—	86.6			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、32、35、38年度実施)		達成率	—	—			

5. 評価(平成29年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	維持	センター事業としては、通常の取り組みに加え、「第3次男女平等推進プラン」の策定や、「沿線3市男女共同参画連携事業」として、「防災と男女共同参画」の連続講座、フォトボイス展などを行い、多くの市民の関心を得ることができ、講座から発生した防災学習継続グループも生まれました。 また、平成28年度の連携事業で行った女性起業フェスタも継続して実施し、今後もそこから生まれた市の女性起業ネットワークの発展につなげていく。 女性広報発行事業では、市民編集委員が地域の担い手となる人材育成の場として機能しており、男女共同参画の視点を持った男性の生き方を取り上げた特集や、国際化・多文化社会のなかで活躍する女性たちを紹介し、市の豊かさを伝えている。 アイレックまつり事業は、実行委員会を中心に、多くの市民が関心を持つ事業を展開し、その一環である「男女平等推進条例こどものためのガイドブック」から発展した市内小学生による「人権かるた」の展示会を初めてクリアラリーで行い、今までとは異なる人々への関心を喚起することができた。

※順調「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の姿」の達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由
市民ニーズの状況	「女性活躍」の機運醸成などから、「女性が働くこと」に対する社会的支援のニーズが高まっている。防災に関しても一般的な基盤整備に合わせて、人権・男女共同参画の視点を持った学習機会を望む声が高い。	1. 施策遂行に役立つ・有利 3. 施策の必要性を高める	男女共同参画の視点をもった各種の取り組みは、それぞれの活動の質的な向上には必須である。
将来人口の推移	人口比では全体数が減少傾向になることが見込まれるなかで、高齢女性の割合はかつてない高さとなる。	1. 施策遂行に役立つ・有利 3. 施策の必要性を高める	年齢にかかわらず女性たちが、男女共同参画センターの視点を持ち、主体的に地域に根差した活動を積み上げ、社会状況を理解し、そのなかでニーズにあった支援、地域活動を形成していくことが持続可能な地域コミュニティの形成に必要である。
他自治体との比較	「参画」する市民や団体(登録団体など)のつながりは、他市と比較しても深い。	1. 施策遂行に役立つ・有利 3. 施策の必要性を高める	「参画」する個人を育成し、広げる役割の先に、「協働」事業の担い手としての関係づくりなどが求められている。
民間企業・NPO・市民の動向	子ども・子育て分野などでは自立的な市民団体が複数ある。市内事業者との機能的な連携は不十分である。	2. 施策遂行に不利 3. 施策の必要性を高める	事業所における男女共同参画の推進が求められる。子育て・介護等非営利部門でも団体の力量形成は、地域女性の活躍の場を増やすことにもなるため、今後の連携の在り方を探る必要がある。
法・制度改正の動向	女性活躍推進法成立により、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた企業の認定制度の多層化などがみられる。 JKビジネスやAV契約問題など、特に若年女性への注意喚起が国からも行われている。	1. 施策遂行に役立つ・有利 3. 施策の必要性を高める	事業者等の経営の質的变化が求められている。
技術革新の動向	女性の働き方の多様性を担保するものとしてテレワークの進化が図られている。	1. 施策遂行に役立つ・有利 3. 施策の必要性を高める	多様な立場の働く人支援の事業として、テレワークスペースなどの設立が求められている。

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	女性活躍推進法により、女性の活躍と多様な働き方への支援が求められている。		
	関連する事務事業名	起業支援事業		
	現在の取組状況	沿線3市男女共同参画連携事業により、女性起業家の学習とネットワーク形成を目的にしたフェスタ事業を2年間継続して実施した。平成30年度は、起業支援事業として、ネットワークの強化と組織化を念頭に事業を継続する。また、地域課題に取り組む団体が女性の活躍の場として抱える課題や、多様な働き方に対応するワーキングスペース運営について、ニーズとポテンシャル、他市先進事例の調査を実施する。		
	平成31年度以降の取組	国の地方創生交付金を活用し、より自立的な女性起業家のネットワークづくり、及びワーキングスペース等については事業運営主体の形成や育成をふまえて事業運営を推進する。		
②	施策を進める上での課題	働く場における男女共同参画の推進のため、地域の事業者等への周知、啓発を行う必要がある。		
	関連する事務事業名	男女共同参画センター運営管理事業		
	現在の取組状況	第3次男女平等推進プランに基づき、地域事業者に向けての働きかけの方策について庁内調整を進め、効果的な働きかけを行う。		
	平成31年度以降の取組	地域のさまざまな事業者、関連団体、ネットワーク団体等に対して効果的な広報とモデル事業の推進を図る。		
③	施策を進める上での課題	地域の意思決定過程への男女共同参画の推進、特に防災における男女共同参画を進めていく必要がある。		
	関連する事務事業名	男女共同参画センター運営管理事業		
	現在の取組状況	沿線3市男女共同参画連携事業で実施した「防災と男女共同参画」連続講座の修了生を中心に継続学習会が立ち上がった。このグループが地域防災に関して機能的に動ける人材育成となるように取り組んでいる。		
	平成31年度以降の取組	継続グループのメンバーが主体となり講座の企画、出前講座やそれぞれの所属での「防災と男女共同参画」に関する取組みを進める。グループとしては、情報交換や継続学習の場としての機能を果たす。		